

# ほたるの里だより

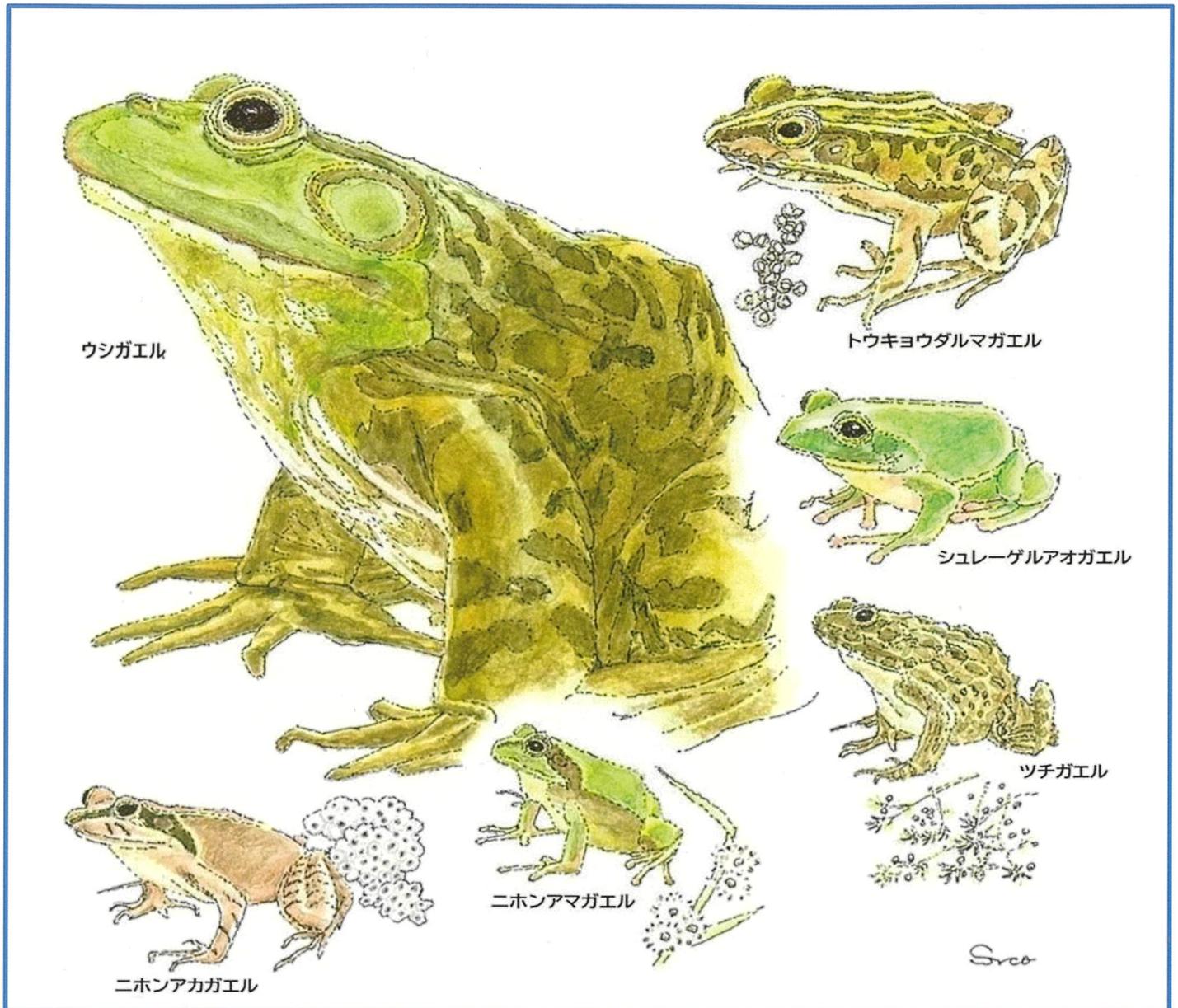
八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第61号 2020年3月



ほたるの里

## ほたるの里と周りのカエル（冬）



(絵：もり)

カエルは冬眠します。冬ごもりしていた虫がはい出してくるころ（啓蟄（けいちつ）：旧暦1月後半～2月前半）、まずニホンアカガエルが水辺に来て産卵します。4月ころには、他のカエルも産卵します。

ほたるの里と周りには、いろいろなカエルがすんでいます。オタマジャクシは水の中で暮らしますが、カエルになると陸上で暮らし、夏にはほたるの里の隣の斜面林などで、暮らします。

## ご一緒にませんか！里の整備

ほたるの里が作られてから、22年近くになります。当初と比べると木々が茂り、緑も豊かになり、夏にはカブトムシ、クワガタ、セミの羽化までも見られる里山らしくなりました。

トンボ池や湿地ではギンヤンマ、ハグロトンボ、トウキョウダルマガエル、ニホンアカガエルなどが生息しています。夏には、ヘイケボタルの飛翔が見られ、自生への期待が膨らんでいます。

このような良い状況とは反対に、湿地のゴムシートに穴が開いているらしく、湿地からトンボ池へ水が染み出し、泥も池に流れ込んでいるようです。実行委員会ではこのような状況も見ながら、年間整備計画を基に、活動しています。5月はヘイケボタルの幼虫のエサになるサカマキガイが増えることを期待して、湿地に稲を植えます。ジャコウアゲハの食草のウマノスズクサ、モニタリング中のヒメコマツも雑草に負けないように草刈りします。

9月は台風の襲来で、木が数本倒れました。倒木の整備や、落ちた枝など、里に来る人の安全も考慮して、できるところは整備しました。ザリガニ駆除は、4月～2020年1月までで、約4,000匹くらい駆除しました。

ホテルメイト以外にもTOTO株式会社社員の整備への参加や、市民の方がザリガニ駆除の応援をしてくださるなど、あたたかな気持ちをいただいています。

これまでの整備の効果か、この2月の湿地にはニホンアカガエルの卵塊が50個以上あり、10数年ぶりの状況に、驚いています。

里の整備の基本は「生き物目線」ですが、参加してくださる方との交流も、大切にしたいと思います。

生き物好きな方、風景が好きな方、里の整備（毎月第2土曜日午前中）でお会いしましょう！

（文責：広報部）

## 市民活動フェスティバル報告

11月3日（日）八千代市民活動フェスティバルが、村上駅前のフルルガーデンで開催されました。当日は朝から曇りの天気午後から雨との予報も出ており、若干肌寒い感じの日和でしたが、人の出は例年のごとくあまり途切れることもなく、ますますの人出であったかと思います。今回はブースが前年より間口が2倍ほど広くなり余裕のある広さが提供されました。

“ほたるの里”は今回新しくザリガニ君のレースとオナモミ投げを企画実行することになり準備を進めてきました。ザリガニ君のレースは4レーンで長さ約70cmのコース盤を作り、ゲートと位置可変の出来るゴールを設けています。レースに参加した子ども達は、ザリガニレースは初めてのようで、ザリガニはスタスタ歩くものや、なかなか動かないのもあり、割り箸の先で尾を突っく子どももいてそれなりに楽しめたようです。

特に印象に残っているのは、海外の女子学生が、

ザリガニを初めて見たのか、一挙手一投足の動きが面白いようで、キャッキヤと喜んでいた様子をスタッフが見て面白く感じました。

オナモミ投げはオナモミの実が付くよう、フェルトで作った的に投げるもので、中心に当たればホテル（黄色）で5点、次はニホンアカガエル（橙色）で4点、外れは1点で、ほたるの里にいる生き物が分かるよう工夫しました。フェスティバルは10時～16時まででしたが、スタッフも飽きることもなく楽しめた1日でした。

（文責：深澤一郎）



## おやこ生き物探検隊 「秋の生き物」

日時：2019年10月5日（土）9：30～11：30 会場：ほたるの里

「おやこ生き物探検隊」の第3回「秋の生き物を探検してみよう」を実施しました。お天気も良く、やや暑い日でしたが、元気に、里のあちこちを探検しました。

まず、里の周りの田んぼを見てから、里の中を歩きました。田んぼはすでに稲刈りは終わっていました。バッタクイズに挑戦した後は、生き物探検です。木々のあたりでは昆虫、草むらではバッタ、トンボ池ではザリガニ、メダカなどなど・・・探検隊の一員として頑張っています。

網で捕まえたバッタを、手でつまんでケースに入れられる子ども、なかなか捕まえない子どもなど、それぞれの個性があります。昆虫網使いもだいぶ上達してきましたが、取り逃したときは悔しそうでした。

保護者の方は、子どもたちの活動を外から支援して、やさしく見守る姿は印象的でした。たまにはお母さん同士でのおしゃべりも大事な時間です。



捕まえた生き物は、やはりバッタの仲間が多く、カマキリは少なかったようでした。他にはアキアカネ、ナツアカネ、ノシメトンボ、ツマグロヒョウモンなどいました。水辺の生き物は、トウキョウダルマガエル、カダヤシ、タニシ、カワニナなど見つけていました。

イナゴは稲を食べるので、田んぼの近くにいます。アキアカネは、夏は山で過ごし秋になると里の水辺に来るなど、生き物と自然のつながりも少し教えていただきました。

（文責：広報部）



## ほたるの里のニホンアカガエル

ほたるの里にはニホンアカガエルが生息しています。17年前は、2月になるとアカガエルの卵塊が100個以上もありました。毎年数を調査していましたが、10年前ころからかなり激減し、ここ7年前からは2個？ あるいは0個と、厳しい状況でした。

昨年は湿地の工事などで、水が無く、水路に3卵塊くらいが見つかりました。ところが・・・今年は50個近くの卵塊が見つかり、奇跡！ と言えそうです。

ほたるの里の周りにはアカガエルが、里の湿地を目指して集合したのでしょうか？

実行委員会ではこの状況に、笑顔があふれています。卵塊が鳥に食べられないように！ と網を張り、保護していますが、そろそろオタマジャクシになり始めました。

これからは鳥や、ヤゴ、ザリガニ、ウシガエルのオ



タマジャクシなど多くの敵？ がいます。そのような中、成体になるのはどのくらいの数でしょうか？

田んぼなど水辺が少なくなっている現在は、カエル類など水辺の生き物がかなり減っています。千葉県では、ニホンアカガエルは絶滅危惧種Ⅰ類（2011年）で、八千代市内でも数カ所しか生息していません。

ニホンアカガエルは湿地だけでなく、夏は山で過ごします。ほたるの里の隣の斜面林は大事な場所です。

ハグロトンボも水辺で過ごした後は山に行き、卵を水辺に産みに来ます。

里のアカガエルの今年の軌跡を、今後活かしていくために、里の整備、周辺とのつながりにも気にかけていきたいと思っています。

皆さまも温かい目で見守ってください！

（文責：桑波田和子）

### 【ほたるの里づくり実行委員会

#### 第23回総会】

日時：4月11日(土) 10:00~11:00

場所：やちよ農業交流センター

第1・2研修室 (島田2076)

内容：令和元年度の事業報告と会計報告、  
令和2年度の活動予定について  
話し合います。

### 【自然観察会】

日時：4月11日(土) 11:30~

集合場所：やちよ農業交流センター

ピロティアー

内容：農業交流センター~菖蒲谷津まで  
を歩きながら、自然観察会をおこな  
います。

ほたるの里の新しいリーフレットができた。里が出来た頃の写真と今の里の様子を見てみると、今では、生き物がすみたくなるような生き物の里になってきました。

### 【今年度も里山楽校を開催しました】

八千代市環境政策室では、平成23年3月に谷津・里山保全計画を策定し、施策の一つとして里山整備ボランティア人材育成講座(里山楽校)を開催しています。

秋から冬にかけて開催する本講座は、今年度で9期目となりますが、9名が規定の課程を修了し、新たな仲間に加わりました。

講座では、里山整備に関する知識や活動で利用するチェーンソーの使い方などを実践的に学んだほか、千葉県主催の「おいでよ!ちばの里山キャンペーン」と連携し、市内の里山団体活動地の見学や里山体験を実施しました。

「自然が好き」、「自然の中で楽しく活動をしたい」、「身近な里山を体感したい」、「地域に貢献したい」などどのような理由でも構いません。次年度も開催予定なので、皆さまのご参加をお待ちしております!(市環境政策室)



## ・ ・ ホタルメイト募集中 ・ ・

●年会費(4月~翌年3月) ※登録期間は1年間。

個人 1世帯1,000円

市民団体・事業所 1口 2,000円

詳しくは、事務局までお問い合わせください。

●受け付け

市役所旧館 2階環境保全課窓口やイベント、里の環境整備時。また郵便局からの郵便振替でも納入可

※郵便局でお振込の場合

払込先：八千代市ほたるの里づくり実行委員会

口座番号：00150-7-670156

振替手数料：ATM152円、窓口203円

### 八千代市ほたるの里づくり実行委員会

八千代のヘイケボタルや多くの生き物が住めるように楽しく活動しています



事務局：八千代市役所環境政策室  
〒276-8501八千代市大和田新田312-5 Tel:047-483-1151(代表)

### 編集後記(広報部会)

今年の冬も暖冬でした! 生き物にはどのように影響しているのでしょうか?

ニホンアカガエルは例年節分のころ卵を産みますが、今年は1月20日過ぎに卵塊が見られました。気候変動と生き物の関係、気になります。

※この里だよりは2019年度TOTO水環境基金を頂き作成しました。

### [ ほたるの里 連絡先 ]

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田312-5

八千代市環境政策室 内

Tel: 047-483-1151 (内線2216)

E-mail: kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP: <http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508>

/page000009.html

[ 編集 ] 広報部会・事務局